



あおやましんめい い せき
青山神明遺跡
発掘だより 3号

令和6年3月12日発行



◆青山神明遺跡 23B 区の調査◆

23B 区は神明公園の西側にある地点で、
 昨年（2024年）の12月より調査を実施してきました。
 調査面積 3400㎡の内、北側半分を 23Ba 区、
 南側半分を 23Bb 区に分けて行いました。

◆ 23B 区 概要 ◆

23B 区で確認できた遺構と出土遺物は古
 墳時代から江戸時代にかけてのものがあり
 ました。主な遺構には、古墳時代後期の土
 坑が2基、溝が1条、奈良時代のたてあな 竪穴建物
あと 跡が1棟、鎌倉時代のほったてばしら 掘立柱建物跡が3
 棟、溝が5条、井戸が3基、江戸時代後期
どこう の土坑が1基ありました。



青山神明遺跡 23B 区 位置図 (赤丸)

23B 区の南側にある溝 (1330SD) ではま
 とまった状態で古墳時代後期のはじき 土師器の
かめ 甕が2個出土しました。中央にある竪穴
 建物跡 (1021SI) は奈良時代のもので東西
 2.8m・南北 3.45m、平面形はすみまるちようほうけい 隅丸長方形
ちゆうけつ しゆうこう で柱穴と周溝が確認されました。調査区
 北側の掘立柱建物跡 1 はけたゆき けん はりま 桁行3間、梁間
とうざいむね そうばしら 2間の東西棟の総柱建物で、鎌倉時代の
 ものと考えられます。



青山神明遺跡 23Bb 区 空中撮影 (北より)

編集



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
 HP <http://www.maibun.com>
 TEL : 0567-67-4163

調査支援



株式会社 アート
 愛知支店 〒462-0012
 愛知県名古屋市中区楠 1-1721
 TEL 090-6965-2991
 (現場代理人 坂本)

青山神明遺跡 23B 区 調査成果報告

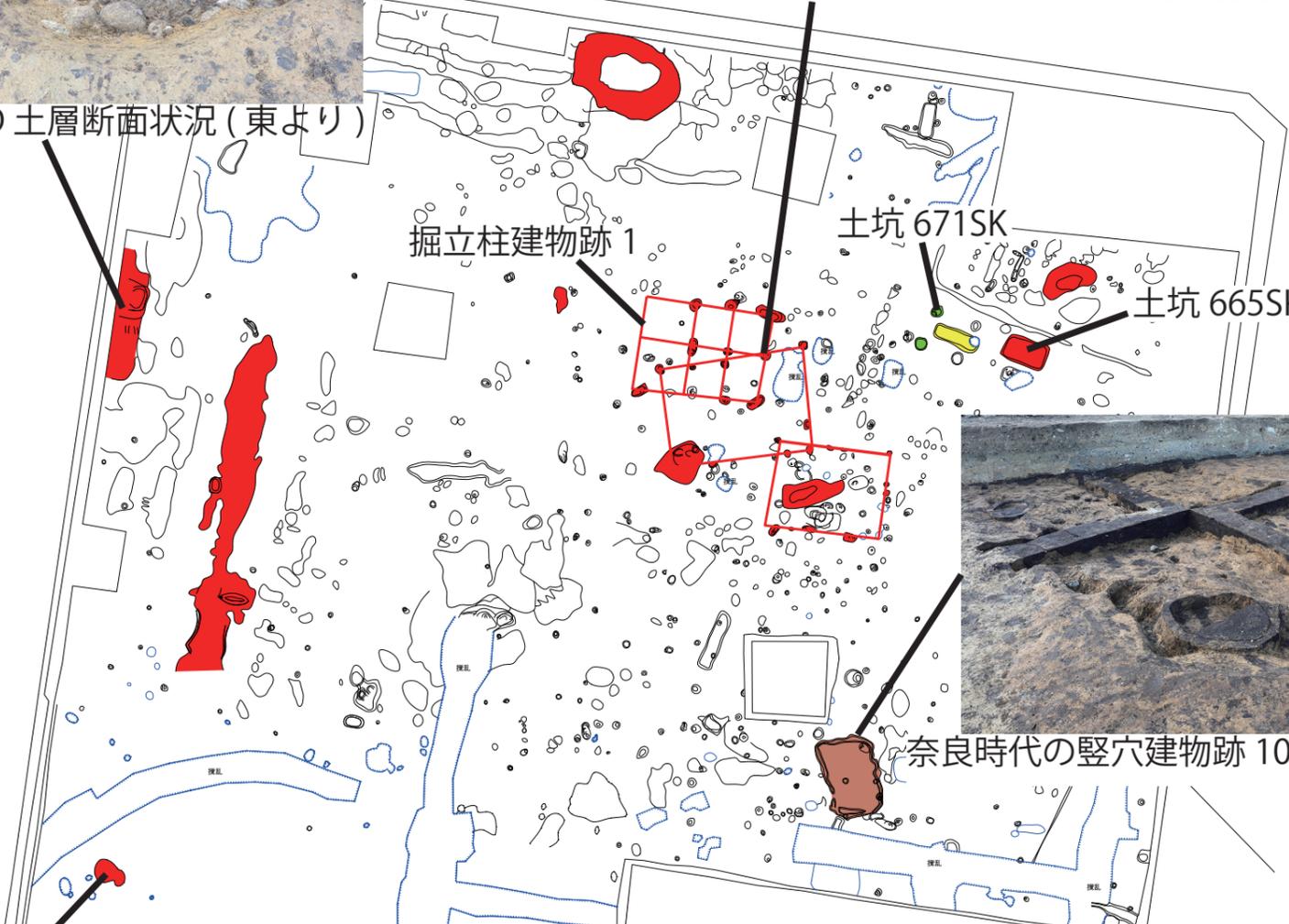


溝 529SD 土層断面状況 (東より)



柱穴 781SP 土層断面 (東より)

- 古墳時代後期の遺構 ■
- 奈良時代の遺構 ■
- 鎌倉時代の遺構 ■
- 江戸時代後期～近代の遺構 ■

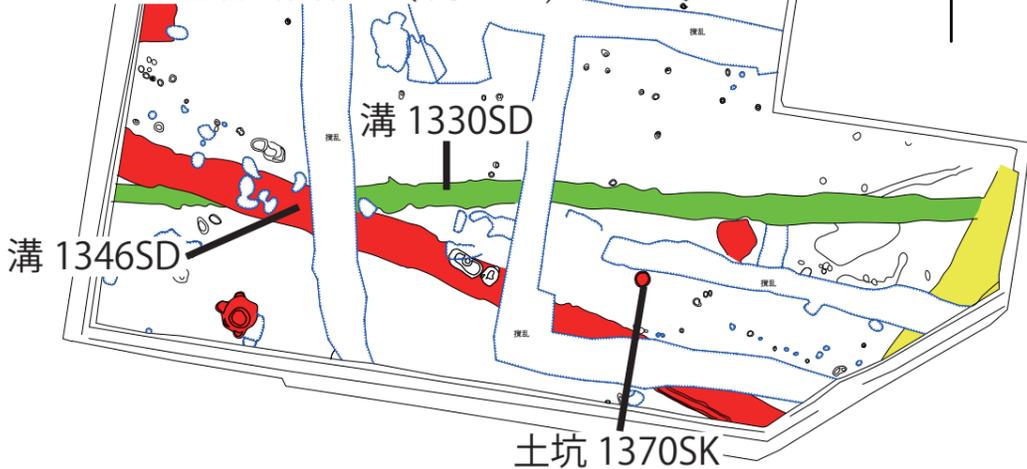


奈良時代の竪穴建物跡 1021SI (北東より)



土坑 1503SK 土層断面状況 (南より)

青山神明遺跡 全体図



0 20m



溝 1330SD 遺物出土状況① (南より)

青山神明遺跡 23B 区 発掘調査写真



23Ba 区 空中撮影 (北より)
23B 区の北側半分の調査区です。



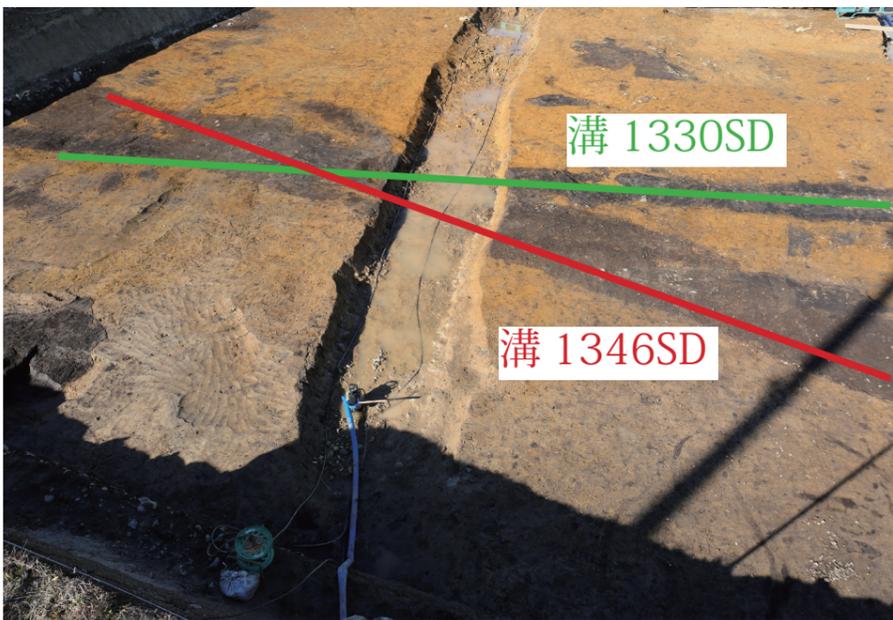
23Ba 区 土坑 671SK 出土遺物
古墳時代後半の須恵器 (坏蓋) が出土しました。



23Bb 区 遠景写真 (北西より)
写真奥に 23A 区、右側に 23C 区の一部が見えます。



23Bb 区 土坑 1370SK 遺物出土状況①
土師器と共に赤い焼けた土も出土しました。



23Bb 区 遺構検出状況
中央の攪乱に切られて、二つの溝が交差しているのがわかります。



23Bb 区 土坑 1370SK 遺物出土状況②
焼けた土の下から鎌倉時代の茶碗の底部と甕の胴体が出土しました。



23Ba 区 土坑 665SK 土層断面
鎌倉時代の陶器の破片が出土しました。



23Bb 区 溝 1330SD 遺物出土状況②
古墳時代の土師器の甕がまとまって出土しています。